

～子供たちの夢をかなえる教師になる！～

# 東京教師養成塾通信

発行日 平成30年2月10日  
<第10号>  
発行元 東京都教職員研修センター  
研修部教育開発課  
電話 03-5802-0318

## ●第19回講座「教育公務員としての服務③」

平成30年1月13日（土）に開催された第19回講座では、「教育公務員の服務③」をテーマに東京都教職員研修センター研修部教育開発課 高瀬 智子統括指導主事による講義が行われました。講義の冒頭に、服務に関する講座が、4月8日の第1回講座、8月23日の合宿での講座に続き、3回行われる背景について説明がありました。そして、これまでの講義を復習するとともに、体罰に関する内容を重点的に学ぶ機会となりました。事例を通して、体罰が違法であること、児童・生徒の人権を守ることの大切さについて確認しました。講義の結びに、「教育は人なり」という言葉から、児童・生徒を教え育てるといふ崇高な使命について伝えられました。どのような教師になりたいかを問われるとともに、4月の教壇に立つまでの日数を示された塾生は、引き締まった表情で講義を受講するとともに、主体的に協議を行っていました。

### 【塾生の感想より】

- ・教師として、公務員として、社会人としての自覚をより一層強くもった。体罰に関する意識をもち常に児童の側に立った指導を心掛ける。
- ・一人の服務事故が学校教育全体の信頼の失墜につながることを改めて理解できた。だからこそ自覚をもって過ごさなければならないと強く感じた。

## ●第20回講座「若き教師に期待する～これから教師になる皆さんへ～」

平成30年1月27日（土）に開催された第20回講座では、「若き教師に期待する～これから教師になる皆さんへ～」をテーマに、東京都教職員研修センター 大和 義行研修部長による講義が行われました。まず、教師に対する都民や保護者、子供たちの期待は大きく、それに応えるべき責務があること、そのためにしなければならないことについて話がありました。その上で、「東京都の教育に求められる教師像」や東京都小学校科学展等の具体的な取組を通して子供たちの姿を捉えていくことについてや、40年の教師生活を10年ごとに考えると身に付けるべき力が明確になるとの助言がありました。さらに、この10年間の教育の変化を概観し、今後の教育の在り方に対応するためにも「常に学び続ける教師」であってほしいとの期待の言葉がありました。塾生は、班別協議で全20回の講座を振り返るとともに、研修部長の講義の内容を確認し、4月からの教師生活に向けて、活発に協議を行っていました。

### 【塾生の感想より】

- ・教育は日進月歩で進んでいるという話から、常に最先端を探求していくことの大切さを学んだ。子供の成長と共に、自分も成長し続けられる姿勢を忘れずに今後も励みたい。
- ・教師になったらそれで終わりではないということを強く感じた。教師生活40年の期間を10年単位で区切り、その年代での目標に応じて学び続けていきたい。



ボードを活用し協議する塾生

## 英語に関する講座「外国語活動の模擬授業」

1月13日（土）に、第8回（最終回）英語に関する講座を実施しました。第6回から「Welcome to Tokyo」を使って塾生による模擬授業を行っています。今回は、「7 観光案内をしよう！」「9 東京の水について説明しよう！」の内容を扱いました。回を重ねるごとに、児童・生徒役ができるだけ発話するようにペアワーク等を取り入れたり、映像教材を効果的に活用したりと授業に工夫が見られるようになりました。振り返りには、「模擬授業を通して授業づくりのイメージをもつことできた」「教師が楽しく英語を用いることが大切」という内容があり、多くの塾生が今後に生かすという気持ちをもつことができました。



テキストを用いて指示する塾生

## ●特別教育実習～一日学級担任の紹介～

塾生は、教師養成指定校で、約40日間、校長先生をはじめとする多くの先生方から、教育者としての自覚や責任、各教科等における学習指導、児童・生徒への柔軟な対応等について指導を受け、学ぶことができました。

約1年間の特別教育実習のまとめの時期にあたる1月は、多くの塾生が一日学級担任を経験しました。塾生は、学級担任として一日を過ごすことにより、見通しをもって指導に臨むことや、学校や学級全体を把握した上で児童・生徒に対応することの大切さを学ぶことができました。

### (1) 児童との関わりについて

- ・多くの時間を児童と過ごすことで学級での様子や児童間の関係に気付くことができた。

### (2) 授業実践について

- ・一日の授業を全て担当することで、教科のつながりや気持ちの切り替えの大切さを学ぶことができた。
- ・一日全ての授業を行うということは、見通しと準備が必要であるということを学んだ。

### (3) 今後の抱負

- ・一日の授業毎のつながり、日々の積み重ねを意識して見通しをもった学級経営をしていきたい。児童と共に過ごす時間を大切に、互いに信頼関係を築くことのできる教師を目指していく。
- ・一日担任の経験を生かし、子供たちが安心して過ごせる学級づくりや学ぶことが楽しいと思える授業展開を目指し、準備を進めていきたい。

### 【小学校コース】一日担任の日程例

職員打合せ	
8:10～ 8:45	登校の指導 朝学習・朝の会指導
8:45～ 12:20	授業実践
給食指導	
休み時間	
13:45～ 14:30	授業実践
14:30～ 14:50	帰りの会・下校指導
放課後	採点・指導教員との 打合せ

### 【連載シリーズ コラム⑮】

## ◆4月から教師としての道を歩む塾生への期待◆

東京教師養成塾教授 武田 一郎

東京教師養成塾では、実践力に富む教員の育成を目指し、この1年間、様々な学びを重ねてまいりました。この1年間、養成塾で塾生が学んだことを以下のように振り返ることができます。

まず、第一に特別教育実習です。教師養成指定校での年間を通じた教育実習や特別支援学校、又は異なる障害種別の授業参観等を通して、実践的な指導力や柔軟な対応力を身に付けることが特別教育実習の目的です。第二に、教職員研修センターで月2回行われた講座です。塾生は、教科等に関する講座、教師の使命や服務に関する講座、学級経営に関する講座、教育課題に関する講座等で、教科等の専門性や指導技術及び学級経営における実践的な指導力について学ぶことができました。第三に、企業等での就業体験です。社会人としての責任ある態度を身に付けるための体験活動となりました。そして、第四に英語及び外国語活動の指導の基礎を身に付けるための英語に関する講座がありました。また、塾生は、大学に通いながら塾での学びを続けたことで、大学で学んだ理論を現場の学校の中で実践し、理論と実践の乖離に苦しみながらも、より実践的な力を身に付けていきました。こうした様々な研修や実践活動は、教師としての基礎力を育む有意義な機会になりました。

4月当初、分からないことの多かった塾生が、現実の世界に直面し、授業の奥深さ、子供への対応の仕方、学級を統率することの難しさ等を実感していきました。また、指定校の先生方や保護者、地域の方との関わりを通して、社会人としてのマナー等も学んでいきました。

いよいよこの4月から学んだことを実践することになります。指定校をはじめ、塾生の育成に関わっていただいた都内公立学校の先生方、体験活動の受入先の方々に、改めて深く感謝申し上げます。塾生は、お世話になった全ての方々に感謝の気持ちを忘れることなく、その期待に応えてほしいと思います。

この1年間、養成塾で学んだ様々な研修を糧にして、養成塾生としての誇りをもって、都民の方々から信頼される新任教師として十分に力を発揮することを心より願っています。